



合同会社 かじがし

事業説明資料

人の思いを綴りながら
人の出会いの可能性を描く

合同会社かしかし

絵を通して、地域と人の関係性を結ぶことを軸に、東北と首都圏を拠点として2025年1月に設立された会社です。

グラフィックレコーディングやイラスト、関係人口事業を通じて、人の想いや場の価値を可視化し、新たなつながりを生み出しています。単なる受託業務にとどまらず、「人が関わり続けたい地域づくり」を目指し、持続可能な地域のかたちを模索しています。合同会社かしかしは、個人の挑戦と地域の可能性が交差する場所を描き続けます。



グラフィックレコーディング

グラフィックレコーディング（グラレコ）とは、会議やワークショップ、講演などの内容をリアルタイムでイラストや図解を用いて可視化する手法です。

発言や議論の流れをその場で整理し、「見える形」にすることで、参加者全員が同じ情報を共有しながら対話を進めることができます。従来のテキスト中心の議事録では捉えきれない、話の構造や関係性、ニュアンスまでも視覚的に表現できる点が大きな特徴です。

複雑な議題であっても、要点や論点が一目で把握できるため、理解のスピードと話し合いの深度を高める効果があります。



活用シーン例

- ・ 行政や企業の会議、検討会
- ・ ワークショップや対話型イベント
- ・ 講演会、シンポジウム
- ・ 地域づくりやまちづくりの場
- ・ 報道番組のディスプレイなど



会議の場で

発言の関係性や全体像が把握できるため、参加者の認識をそろえ、アイデアがその場で絵になることで、議論を活発化できます。

また、柔らかさから、発言しやすい雰囲気を作り、対話の質や意思決定のスピード向上にも寄与します。会議後は視覚的な記録として共有・振り返りに活用でき、継続的な議論の基盤としても機能させることができます。



会社の総会で

創業者の理念や意思決定の背景を、言葉だけでなく図や構造として可視化することで、組織内への浸透を促します。抽象的になりがちな考え方も直感的に理解できる形で共有されるため、部下が意図や価値観を自分ごととして捉えやすくなります。また、会議や研修の場で繰り返し視覚化されることで、共通言語として定着し、組織全体の判断基準の統一や行動の質向上にもつながります。



まちづくりの現場で

行政・住民・事業者などの考えを整理しながら共有することで、認識のズレを減らし、合意形成を促進します。

また、抽象的なビジョンや地域の可能性も直感的に理解できる形で示されるため、参加者の主体性や関わり意欲を高めます。その場に参加できなかった人に対しても、触れやすい形で記録をとることで、次回以降の話し合いの場につなげるためのフックにすることができます。

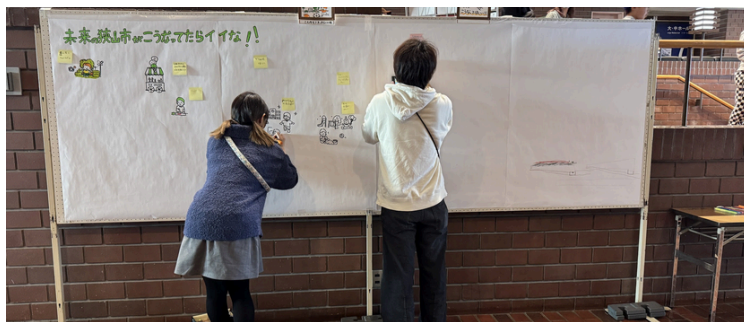


チーム連携での事例

地域のグラフィックレコーダーとチームを組むことで、多様な視点と表現力を活かした可視化を実現します。

マルシェイベントではイベント参加者の地域への想いを抽出するツールとして活用でき、普段拾いきれていない層の潜在的なニーズを掘り上げることができます。

また、大規模イベントでも、各セッションにグラフィックレコーダーを配置し、より質の高いアウトプットを作ることができます。



料金体系

イラスト制作	(税込) 55,000円～ /枚
グラフィックレコーディング	(税込) 66,000円～ /時
チームでの グラフィックレコーディング	(税込) 110,000円～ 人数により変動
グラレコ研修 (3時間)	(税込) 110,000円

主な活動実績

- ・日本テレビ「スッカリ」
- ・NHK高松「CO～LIVE」
- ・シェアリングエコノミー協会「シェアサミット」
- ・株式会社要 社内総会の可視化
- ・一般社団法人シブヤフォント ワークショップのグラレコ
- ・JICA東京 オンラインイベントのグラレコ
- ・福山市 福山未来共創塾
- ・仙台市社会福祉協議会 パネルディスカッション
- ・東北経済産業局 BPOシンポジウム
- ・株式会社マイファーム 全国焼き芋サミット
- ・宮古市観光協会
- ・狭山市役所
- ・UR都市機構 団地活用のワークショップ
- ・マニユライフ生命 シンポジウム

講師

- ・日本技術士会
- ・狭山市役所

イラスト制作とグラフィックレコーディングの違いは、リアルタイムにその場で書く必要があるかどうかの違いになります。スライドに使いたい、などの要望がありましたら、イラスト制作をご選択ください。

また、2次利用がある場合は、2次利用料が発生いたしますので、ご相談ください。

またチームでのグラレコを希望する際は、手配のための時間が発生いたしますので、余裕を持ってご相談ください。

関係人口創出

洋野町ノマドワーク体験プログラム (2025年)

自然豊かな環境の中で働きながら学ぶ2泊3日の体験型事業です。都市部の参加者が地域に滞在し、ノマドワークの実践とともに、山菜採りやマリン体験、地域事業者との交流を通じて新しい働き方と暮らし方を学びます。地域との関係づくりを促進し、関係人口の創出や将来的な移住・定住につなげることを目的として実施し、日本だけでなく、海外からも参加申し込みがあり、有名なノマドワーカーの方をオンラインで繋ぎ、ノマドワークについて、見識を深めました。

ダイジェストムービー

[https://youtu.be/mM787YCkg2w?
si=qmsAL7LR91LOvxSl](https://youtu.be/mM787YCkg2w?si=qmsAL7LR91LOvxSl)



地域おこし協力隊の活動支援 (2026年~)

事業者派遣型関係人口創出事業 (2025年~)

マッチングサービス「おてつたび」を活用し、地域事業者が働きつつ、地域外の働き手に洋野町を知ってもらう機会を作っています。洋野町に来るまでのスケジュール調整から、当日のアテンド、体験者の生活環境を整えるまで、トータルサポートを行い、継続的な関係性が生まれるような支援を行っています。また、おてつたびの様子は動画として記録し、町のPR素材として活用できるような形に編集して、発信を行っています。これまでに2名の移住者が生まれ、4人に1人が洋野町に再訪する結果となっています。

洋野町の地域おこし協力隊の研修サポートや日常の活動支援、卒業後のキャリア相談などを業務委託として、活動しています。

合同会社かしかし

〒028-7914

岩手県九戸郡洋野町種市第23地割27番地73

ytom.base@gmail.com

